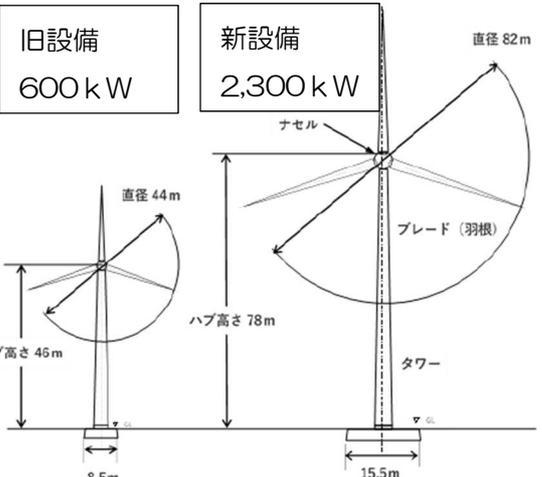


# グリーンローンの概要

## ■資金調達概要

借入人	東北電力株式会社	
貸付人	株式会社秋田銀行	株式会社北日本銀行
資金使途	新能代風力発電所※1	松川地熱発電所※1
プロジェクト概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●所在地：秋田県能代市浅内地区</li> <li>●経緯：当風力発電所は2001年に運転開始をした能代風力発電所が老朽化したため、リプレースしたものの、10機以上の発電機を解体・立て替えて営業運転を開始した国内初の風力発電所。</li> <li>●発電所出力：14,400kW</li> <li>●工事期間：2020年9月工事開始、2021年12月営業運転開始</li> </ul> <p>図1：新能代風力発電所全景</p>  <p>図2：風力発電機の外観</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●所在地：岩手県八幡平市</li> <li>●経緯：日本最初の地熱発電所として1966年に運転を開始。更新工事後の出力は現状の地熱資源採取量の維持と最新鋭の設備採用により最適化を図った規模。</li> <li>●定格出力：(更新前) 23,500kW (更新後) 14,990kW</li> <li>●工事期間：2022年工事開始予定、2025年運転開始予定</li> </ul> <p>図3：発電所の全景 (イメージ)</p>  <p>&lt;更新前&gt;</p>  <p>&lt;更新後&gt;</p> 

外部評価	<p>【評価および検証】</p> <p>DNVより、グリーンローンを含む、グリーンファイナンスによる資金調達計画について、下記基準への適合性について検証を受けております。グリーンローンに関しては、GLGLs、GLPへの適合性について検証を受けております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンボンドガイドライン2020年版（GBGLs 環境省）※2</li> <li>・グリーンローンガイドライン（GLGLs 環境省 2020）※2</li> <li>・グリーンボンド原則2021（GBP ICMA）※3</li> <li>・グリーンローン原則（GLP LMA、APLMA、LTSA 2021）※4</li> <li>・気候ボンド基準（v.3.0）および参照可能な技術基準※5</li> </ul> <p>【認証】</p> <p>東北電力グリーンボンドは、厳格なグリーンファイナンスの国際基準を定める気候ボンドイニシアチブ(Climate Bonds Initiative)により、気候ボンド基準（v.3.0）に対する適合性についてプログラム認証※6を取得しています。</p>
------	--

※1 当社グループの東北自然エネルギーが運営・開発する発電所。

※2 グリーンボンド原則やグリーンローン原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がグリーンボンドに関する具体的な対応を検討する際に参考とし得る、具体的な対応の例や日本の特性に即した解釈を示すことで、グリーンボンドやグリーンローン等を国内でさらに普及させることを目的に、環境省が2017年3月に策定・公表し、2020年3月に改訂したガイドライン。

※3 国際資本市場協会（ICMA）が事務局機能を担う民間団体である「グリーンボンド原則執行委員会」により策定されているグリーンボンドの発行に係る原則。ICMAが2014年に策定・公表し、複数回の改訂を経て、2021年5月に最新版として改訂された。

※4 グリーンローン商品の開発と整合性向上の促進を視野に入れ、シンジケートローン市場で積極的に活動している大手金融機関の代表から成る経験豊富な作業部会によって策定された原則。LMA、APLMA、LSTAが2018年に策定・公表し、2021年2月に改訂された。

※5 第三者評価機関により気候ボンド基準への適合性の検証を受けた債券に対しCBIにより付与される認証。

※6 複数回のグリーンボンド発行を前提とした発行主体が取得することで、一部起債手続きを簡素化し、グリーンボンドの機動的な発行が可能となる制度。

以上